



AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.

Vol. 30 / No.4 / 2011 (No.047)

Issued on 26th Apr, 2012

特別号のご案内

ラオス国日本人会会員の皆様、2011年度最終となるAJRL会報第4号をお届けいたします。

今回会報では、先日皆様にお集まり頂きました定期総会の内容ご報告と、退任させて頂く2011年度理事からのご挨拶をいち早くお届けするべく、通常の紙印刷版ではなくpdf版とし、メール添付でお送りすることとさせて頂きました。これは2011年会計年度は終了していますので、新年度予算へのインパクトを最小とする試みでもあります。

ピーマイ前に、総会議事録は皆様にはお届けすることとなりましたので、当初の計画よりは多少遅い会報誌の発行となりましたが、お手に取って頂き一読下さい。またメールをお使いでない会員様向けには、2012年度定期総会議事録と同時に本会報の若干部数を、以下場所にご厚意で置かせて頂いております。お心当たりの方が周囲にいらっしゃる方は、配布場所をご連絡頂けると幸いです。

配布場所：

- JICAラオス事務所(3階受付)
- ジャンピングラオスツアー(ラオプラザホテル2階)

2011年度 理事 川田 知生

Contents (頁)

- 特別号のご案内 (1) 日本人会活動報告 (1)
新理事役員のご紹介 (2) 入会者のご紹介 (2)
コラム (3) 補習校便り (4)
日本語スピーチ大会 (5) 理事離任の挨拶 (5)

日本人会活動報告

ビエンチャン芋煮会

2012年1月21日、ラオス国日本人会では芋煮会を開催しました。

当初はメコン河川原でBBQ、というワイルドな意見もありましたが、下準備や参加者の集まりやすさも考え、市内のレストランを開催場所としました。また今回は補習授業校の餅つき大会とも共催することしました。



芋煮会では餅つきも行われました。

補習校のご父兄・先生には多めにお餅を搗いて頂き、ご父兄・児童が熱いうちに安部川、磯部に仕立てたものを参加者に配って頂きました。また目玉の芋煮は、牛肉8kg、里芋16kg、人参5kg、豆腐3kg他の材料を使い大鍋3つの分量となりましたが、参加された老若男女117名により、ほぼ完食となりました。

急遽登板し調理頂いた増山様、また配膳をお手伝い頂いた方々、補習授業校関係者の皆様ご協力頂き大変ありがとうございました。

(川田)

2012年度ラオス国日本人会定期総会

2012年度日本人会定期総会が、4月6日（金）午後6時30分よりラオプラザホテルにて開催され、68名の普通会員の方にご出席頂きました。定期総会の開催については2011年度の日本人会理事会の最後の行事となりました。



2012年度ラオス日本人会定期総会

定期総会では総会成立の確認ののち、名誉会長である横田順子在ラオス日本国大使よりご挨拶を頂きました。その後、参加者の中から参鍋様が議長として選出され議題に移りました。

議決事項は

- 1) 2011年度活動報告及び決算報告
- 2) 2012年度会費変更案及び関連の会則変更案
- 3) 2012年度活動計画及び予算案
- 4) 2012年度理事会の役員選出

の4点で、各項目につき川田前会長らによる説明のあと、質疑応答を行い、それぞれの議決事項について承認が得られました。

会費関連の変更により、会則第13条は「年会費は普通会員100,000キープ、賛助会員1,000,000キープとし、会計年初又は入会時に払い込むものとする。月会費は普通会員10,000キープ、賛助会員100,000キープとし、会計年初又は入会時から会計年末又は退会が明確となっている月の分まで、会計年初又は入会時に一括で払い込むものとする。(2項)」と、「入会費は普通会員50,000キープ、賛助会員500,000キープとし、入会時に支払う。(3項)」に改正されました。

また、2012年度日本人会の会長に選任された池田会長からは、2012年度も会員相互のコミュニケーションを密にして風通しの良い日本人会としていきたいと力強い抱負が述べられました。その後、中村前副会長より日本語の補習校の紹介があり、日頃の日本人会会員の方からの協力に対してお礼が述べられました。

総会終了後には懇親会が開かれ、和やかな雰囲気の中、名残惜しく午後9時半頃に閉幕となりました。
(岩月)

新理事会役員のご紹介

2012年度定期総会において新年度の理事会の役員選出が行われ承認されました。その後、各役員による理事会が開催され、会長、副会長が選出されました。

会長	池田 正彦	(三井物産)
副会長	木下 俊夫	(ラオス日本センター)
副会長	串崎 和洋	(リゾンラオ)
理事	伊藤 解子	(SVA)
理事	小泉 充	(MESOAC)
理事	佐々木 慎弥	(王子製紙)
理事	新開 あゆみ	(ハッピースマイルツアー)
理事	鈴木 基義	(計画投資省)
理事	中島 秀晃	(ジャンピングツアー)
理事	野依 幸広	(日本大使館)
理事	森 卓	(スタジオ・イッキウ)
理事	譲尾 進	(JICA事務所)
理事	大田 美紀	(ラオス日本センター)
会計監査	小林 茂紀	(日本大使館)
会計監査	戸谷 幸一	(JICA事務所)

入会者のご紹介

2011年1月から3月までに入会頂きました方々をご紹介します。

法人グループ

佐々木 慎弥 (王子製紙)、新開 あゆみ (ハッピースマイルツアー)

個人グループ

赤松 亭 (DAI-ICHI DENSHI LAOS)

大使館グループ

二元 裕子 (日本国大使館)、二元 ヴィスティヴオン
美香 (家族)、堀越 久男 (日本国大使館)

JICAグループ

鈴木 基義 (ラオス計画投資省)、鈴木 奈加森、
鈴木 櫻子 (家族)、鈴木 蘭丸 (家族)、近藤 如巨
(シニアボランティア)、近藤 美津枝

入会者の連絡先等については info@ajrl.la まで
お問合せください。

入会手続きについて

ラオス国日本人会は、会員相互の親睦、福祉の向上、
日ラオ親善、並びに子女教育の向上を図ることを目的
としています。

ラオスでの生活に必要な情報をメーリングリスト
でお互いに交換することができ、会報誌および会員名
簿が受け取れます。また、年間のいろいろなイベント
に会員料金で参加できます。

2012年度の継続入会の方々は、5月末日までに手続
きと年会費を納付ください。

新規・継続入会の手続き等については
info@ajrl.la までお問合せください。

編集部より

ラオス国日本人会会報誌「アジャレラネットワー
ク」では皆様からの投稿をお待ちしております。邦
人の集まるクラブ活動やイベント紹介、ラオスでの
暮らしに役立つ豆知識や耳より情報、不思議な体験
や活動紹介、コラムなど会員の皆様にも知って頂き
たい投稿記事がありましたら是非御一報ください。

2012年度も宜しくお祈りします。

会報誌への投稿等については info@ajrl.la まで
お問合せください。

追悼文

齊藤 誠さんを偲ぶ

ラオスに約半世紀にわたり尽くされた齊藤誠さん
の訃報に接し、駆け出しボランティアの小生にとり
まして師であり兄のような齊藤さんにまだまだ教え
ていただきたい事が多くあり残念です。

齊藤さんは1965年に青年海外協力隊の隊員 (上下
水道) として当地に赴任しました。隊員番号は一桁
と伺っておりました。革命前のラオスについてよく
ラオラオを片手に説明を受けました。最初のシニア
ボランティアとしても活躍されました。



ラオス内戦終了後には、緒方貞子さんの案内役と
してタイの難民キャンプへも行かれ、多くのラオス
難民の日本受け入れに尽力されました。日本に行か
れた多くのラオス人からは、「齊藤さんにはお世話に
なった。」と事あるごとに聞かされます。

また、最初のODAのナムグムダムの建設では日本の
ゼネコンとラオス側会社との間に立って現場での監
督をされました。日本のゼネコンの現地住宅には住
まずラオス人の中に住んで、また内戦中でもダムの
現場は双方から攻撃はされなかったそうです。齊藤
さんの案内でダムを見学できました

齊藤さんは性格が優しく、人に頼まれるといやと
言えない性格の為か、多くの日本の企業やNGO等の調
査や案内、相談を正にボランティアで行っていました。
さらに責任感の強い人でもありました。

時折、齊藤宅や屋台で齊藤さんの好きなラオラオ
をやりながら、この国のことを語る齊藤さんは、ラ
オスの事を一番篤く思っている人でした。残された
我々は齊藤さんの想いに少しでも近づけるよう精進
したく思います。 アーメン

元JICAシニアボランティア 増山克巳

補習校便り

今回は日本語補習授業校の卒・入学式についてご報告させていただきます。

3月25日（日）、在ラオス日本国大使館磯公使、川田ラオス日本人会会長をご来賓としてお迎えして、平成23年度卒業式及び平成24年度入学式を開催いたしました。本年の会場は、在ラオス日本国大使館のご好意により大使館内の多目的ホールをお借りしまして執り行うことといたしました。



小学校課程の新入生も補習校への仲間入り

平成24年度の新入生を紹介させていただきます。

新入生	小学校課程	岩田 亜莉沙 倉田 亜律裳 長谷川 ティーナ 松山 菜多里
	中学校課程	平藤 大地（計5名）



日本大使館で開催された卒業証書授与式

平成23年度の卒業生は4名、平成24年度の新入生は5名となりました。

卒業式では、ご来賓の皆様からの祝辞のほか、在校生からの卒業生への感謝の気持ちが述べられたのに対し、卒業生4名を代表して、根本英里加さん・美加さんから答辞として在学中の思い出とともに今後の夢に向けての抱負が述べられました。

引き続き開催された入学式では、新入生5名について、補習授業校に入ってから頑張りたいこととして、「日本語」、「ひらがな」、「スポーツ」などが紹介され、一人ひとりから“頑張ります！”という力強いお返事が聞かれました。



花束を受け取る卒業生ら

平成23年度の卒業生を紹介させていただきます。

なお、日本語補習授業校では、今年度（平成24年度）においては、新入生5名を迎えて、合わせて24名の児童・生徒、先生3名（石田先生、川元先生、加藤先生）及びご父兄の中からのボランティアにより、楽しい授業を行なっていきたいと思います。

課外授業や行事などを中心に、生徒さんたちが元気に学んでいる様子を今後の会報にてお知らせしていきたいと思っておりますので、日本人会会員の皆様からの引き続きのご支援、ご協力をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（中村）

卒業生	小学校課程	平藤 大地
	中学校課程	根本 英里加
		根本 美加
		村山 桜（計4名）

ビエンチャン日本語補習学校ホームページ

<http://hwm3.wh.qit.ne.jp/vjs/>

第9回日本語スピーチ大会

2012年3月24日（土曜日）、武道センターにて第9回ラオス日本語スピーチ大会を実施しました。スピーチ大会はビエンチャン市内の日本語教育機関と大使館から成る実行委員会が運営しており、「学習者の励みになるような大会にしたい」、「国籍を問わず、少しでも多くの人に日本語教育、そして日本に興味を持ってもらいたい」との思いで協議を重ね、準備をしてきました。



日本語学習者の晴れ舞台となるスピーチ大会

ラオスでは自分で作文を書くのが難しい入門～初級レベルの学習者が多いことから朗読部門を設けており、また今回は日本語学習者以外でも参加できるカラオケ大会をスピーチの合間のアトラクションとしました。日本をテーマにした初級中級部門のスピーチでは日本の社会制度のよいところ、ラオスへの支援、伝統文化などが取り上げられていましたが、カラオケでは日本に行ったことのないラオス人が流行の「J-POP」を歌っており、インターネットの発達によりラオスでも日本のポップカルチャー人気が高まってくるのかな、と感じました。



J-POPなどのカラオケを熱唱する出場者たち

その他、国籍や日本語学習期間に関係なく、誰でも参加できるスピーチ自由部門が設けられているのもラオスで開催される日本語スピーチ大会の特徴です。他にもくじ引き大会を行ったり、会場外では飲食物等販売、その他のブースを設けたり、「楽しめる」要素も入れましたが、ご来場くださった方々にもご満足いただけましたでしょうか？今後もスピーチ大会は「進化」していきたいと思っておりますので、皆さまのご意見、アドバイスなどありましたら、是非お聞かせください。

最後になりましたが、今回のスピーチ大会にご支援いただいた方々、そしてブースでご協力いただいた方々、皆さまに深く御礼を申し上げます。どうぞ次回大会でもご支援いただけます様、よろしくお願い致します。

ラオス日本センター

大田 美紀

（第9回ラオス日本語スピーチ大会実行委員）

理事離任の挨拶

川田 知生

2011年度ラオス国日本人会会長を務めさせて頂いた、川田です。

直前に発生した東日本大震災で犠牲になられた方に黙祷を捧げた総会で承認頂いた2011年度役員ですが、お蔭様で一人の事故もなく任期を全う出来ました。その間、震災被害に寄せられたラオスからの厚意に対する、日本人コミュニティからの御礼の気持ちを表すと共に日本人の元気をお見せしたジャパン・フェスティバル、また遠足や芋煮会に、たくさんの皆様のご参加を頂きました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。

先日総会でも申し上げましたが、我々役員もイベントや団体運営のプロではなく、種々目が配れなかった点多かったと思います。各々本業を持ちながらも、出来るだけ真摯に対応はしていたつもりですが、至らなかった点に就きましては改めてお詫び申し上げます。

また今後とも日本人会活動へのご支援、ご理解を頂くと共に、積極的なご参加をお待ちしております。

中村 範之

2011年度、日本語補習授業校を担当させていただきました中村です。また、日本人会の行事ではバザーに主に担当させていただきました。

この1年間、日本人会及び補習授業校での活動の様々な場面におきまして、不慣れな面も多々あったにもかかわらず、多くの皆様のご協力やご支援をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

今後も、引き続き会員の一人として、日本人会の行事等に参加させていただければと思います。

大変お世話になりました。

宮永 薫

2011年度、会計を担当しておりました宮永です。

この一年間理事をさせて頂いたおかげで、多くの方々とお会いすることができ、また会社生活ではできないような貴重な経験もすることができました。至らない点も多々あったかと思いますが、会員の皆様や理事の方々のご支援により無事任期を終えられたこと、深く感謝致します。今後も日本人会の活動を楽しみにしています。

岩月 祐二

2011年度役員会の広報を担当し、会員名簿や会報誌の編集を行ってきました。ビエンチャン以外の地方に住んでいるとどのような方々がラオスに連れてどのような生活をしているのか興味があり、編集に携わってみました。結局、これまでの資料を読み返しながら再編集しただけの仕上がりになってしまいましたが・・・。今後も役員や会員による努力により日本人会が継続されていくことを願います。

今後もビエンチャンに滞在する機会があれば日本人会への行事に参加させて頂きたいと思っております。

大滝 美佳

2011年度、普通会员個人グループ及び広報を担当させていただきました。何もわからないまま、気軽な気持ちで理事を引き受けてしまい、始まってから予想より大変な責任のある任務だということに気づき「これは大変だ！甘く考えていた！」と感じたことを思い出します。

私の経験や配慮が至らなかったために一部の会員の方々にご迷惑をかけたり、不愉快な思いをさせてしまったりしたことも多々あるかと思っております。しかし、何か問題があるたびに先輩理事の方や会員の方等、様々な方からアドバイスをいただき、助けられ

ながらなんとか1年間を終えることができました。理事をやっていないなければ知らなかった事を知り、出会うことができなかつたと思われる人々と知り合うことができました。貴重な経験をさせていただいております。

日本人会の皆様、そして理事の皆様、1年間お世話になりました。新しい理事の方は色々大変かと思いますが私のできる範囲でお手伝いできればと思っておりますので宜しくお願い致します。

戸谷 幸一

2011年度、事務局及びJICAグループを担当させていただきました、戸谷(とや)です。

日本人会理事に就任したのが、当地に赴任してから3ヶ月目の事でしたので、日本人会の様子や、どのような方がいらっしゃるのか分からず、ご迷惑おかけした事が多かったかと思っております。その分、イベント企画の運営では、皆様のご協力をいただき成功する事が出来ました。

一年間、本当に御世話になりました。

小川 知佳

2011年度、書記を担当させて頂きました小川と申します。

日本人会に入会したばかりの時に理事をお引き受けしたものの、何をしたいのかわからず、他の理事の方にははずいぶん助けて頂きました。また理事として、お役に立てたかどうかはわからないまま1年が過ぎてしまいました。なんとか理事としてやってこられたのも皆様のおかげと思っております。至らないことばかりだったとは思いますが、私にとっても貴重な体験をさせて頂きました。1年間ありがとうございました。

この他、2011年度理事の池田 正彦、小泉 充、中島 秀晃、野依 幸広は、2012年度も継続して役員を務めさせて頂きます。ありがとうございました。

編集後記

この1年間、会報誌を読んで頂きありがとうございました。メーリングリスト同様に会員への情報発信のツールとしてご活用頂ければと思います。

また、2011年度の会報誌に投稿頂きました方々に大変感謝いたします。

(編集部一同)